

鹿児島大学工学部卒業生アンケートのまとめ

鹿児島大学工学部 JABEE 委員会

平成18年12月

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

鹿児島大学工学部では学生や卒業生の意見を取り入れて授業改善に取り組んでいます。卒業生の皆さんが本学の教育内容に関してどのようなご意見・感想を持っておられるのかを調査するため平成18年8月から9月の間に工学部 JABEE 委員会では卒業生アンケートを実施しました。アンケートは卒業後5年から10年が経過した卒業生を対象に行いました。ご多忙にも係わらず多くの卒業生に回答していただきました。アンケート結果が纏まりましたので、報告致します。

このアンケート結果を参考にして、今後とも工学部では教育内容の改善と充実を図り、国際的に通用する有為な人材を卒業させることを目標にして教育改善に取り組むことにしています。なお、アンケートで回答のあった自由記述の意見は各学科での授業改善に活用していただくことにしていますので、この報告には含めていません。今後とも皆さんのご意見やご協力をお願い致しますとともに、益々のご活躍を期待します。

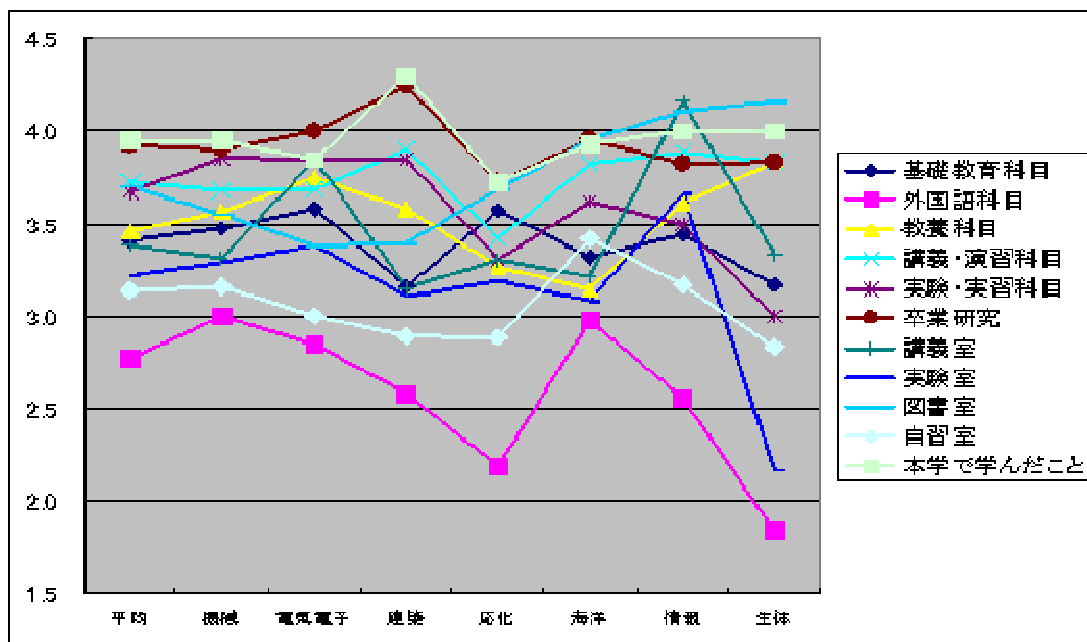
工学部全体のアンケート結果

アンケートの回答者数は204名であった。アンケートの実施時期が短かったこと、JABEE を受審する学科の中には、独自のアンケートを実施した学科もあり、回答者が少なかった。しかしながら、回答の内容は自由意見を含めて、大変貴重なものであり、工学部の今後の教育改善を行うため有益な資料となると言える。以下に、アンケート結果を示すことにする。

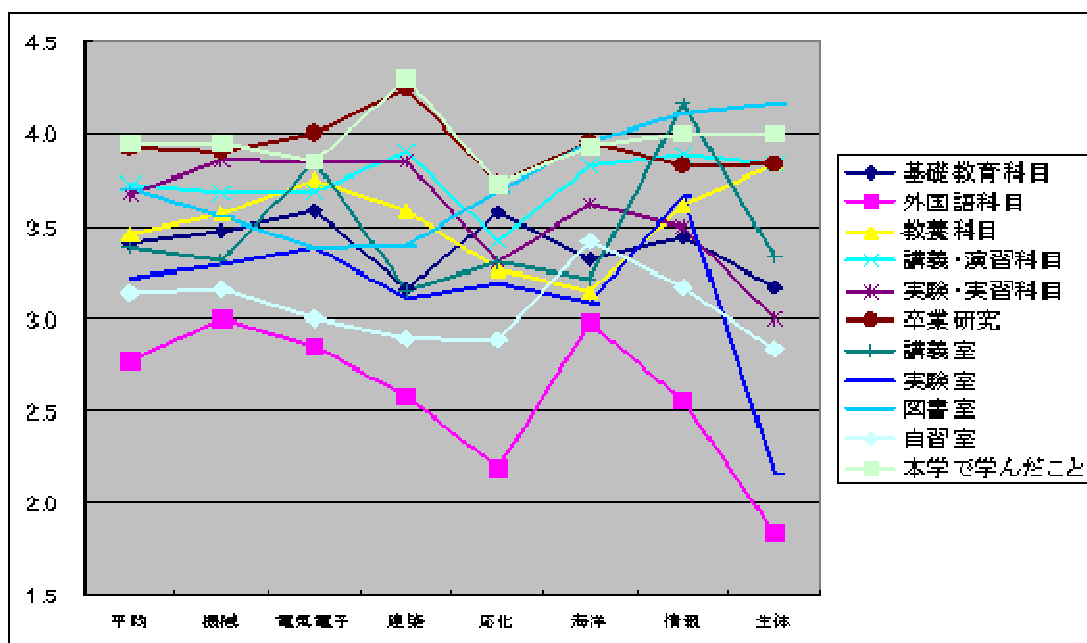
1. 鹿児島大学の教育内容, 学習環境について

図-1は教育内容・環境への満足度に関するものであり、アンケート項目4から7について工学部全体の回答の割合を示している。各項目についての評価内容は十分満足から、全く不満足
の5項目についての割合を示している。外国語科目についての満足度が全体に低いものとなっている。その他の項目については約60%がある程度満足以上になっている。特に本学で学んだことに約80%の回答者がある程度以上の満足を示しており、卒業生は工学部での教育を評価していることが分かる。

図—2は同様に教育内容・環境への満足度に関する各学科の平均値を示している。この平均値は各項目に関して十分満足の5点から、全く不満足の1点とした5点満点で評価してもらった結果である。共通教育の中で特に外国語科目の平均値が全ての学科で小さくなっており、満足度が低いことを示している。一方、専門科目については講義・演習とも比較的満足度の高い評価になっている。卒業研究は全ての学科で満足度の高い評価になっているが、実験室や自習室については、満足度が低く改善が望まれことを示している。また、本学で学んだことに対して、比較的高い評価が得られており、教員の熱心な指導を反映した結果であると思われる。



図—1 教育内容・環境への満足度(工学部)



図—2 教育内容・環境への満足度(工学部平均値)

2. 優れている点について

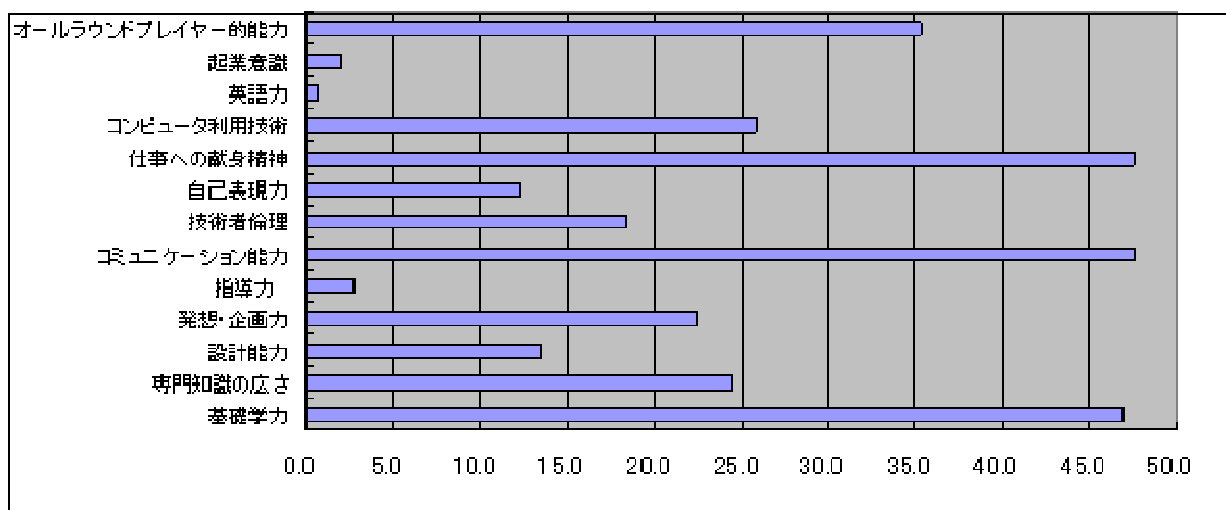
図—3は質問8の項目である「卒業された学科の卒業生は、特にどのようなところが優れていると思いますか。3つ以内で選んで下さい。」に関する全学科からの回答である。仕事への献身精神、コミュニケーション能力、自己表現力は優れていることが示されている。

3. 弱点について

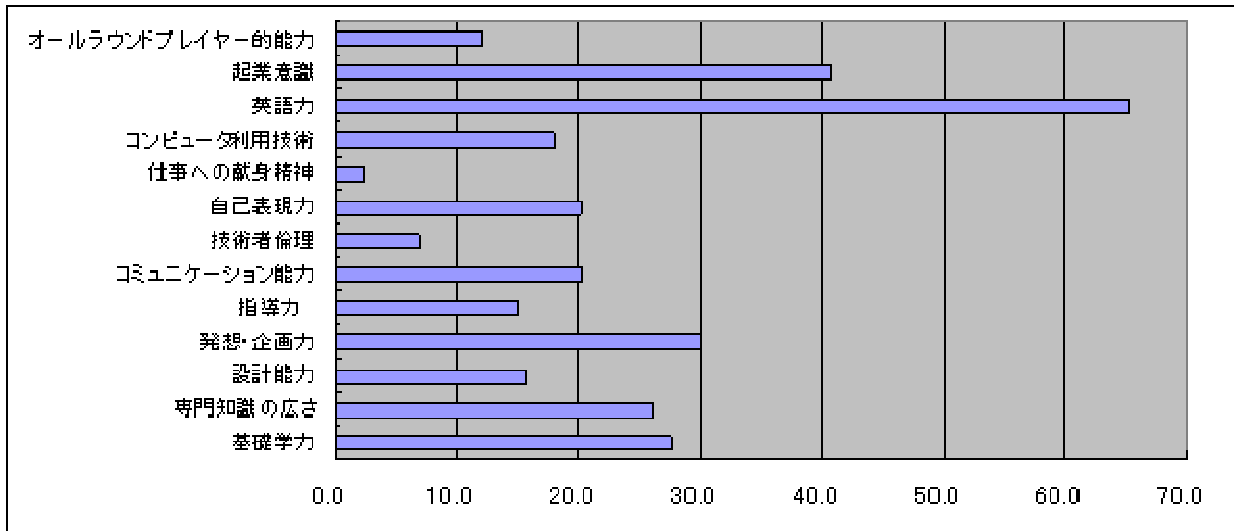
図—4は質問9の項目である「卒業された学科の卒業生の弱点は何ですか。3つ以内で選んで下さい。」に対する回答を示している。特に、英語力と起業意識 に関して弱点があると考える卒業生の割合が多いことを示しており、今後の学習・教育内容の改善が必要であることを示している。

4. 必要な能力について

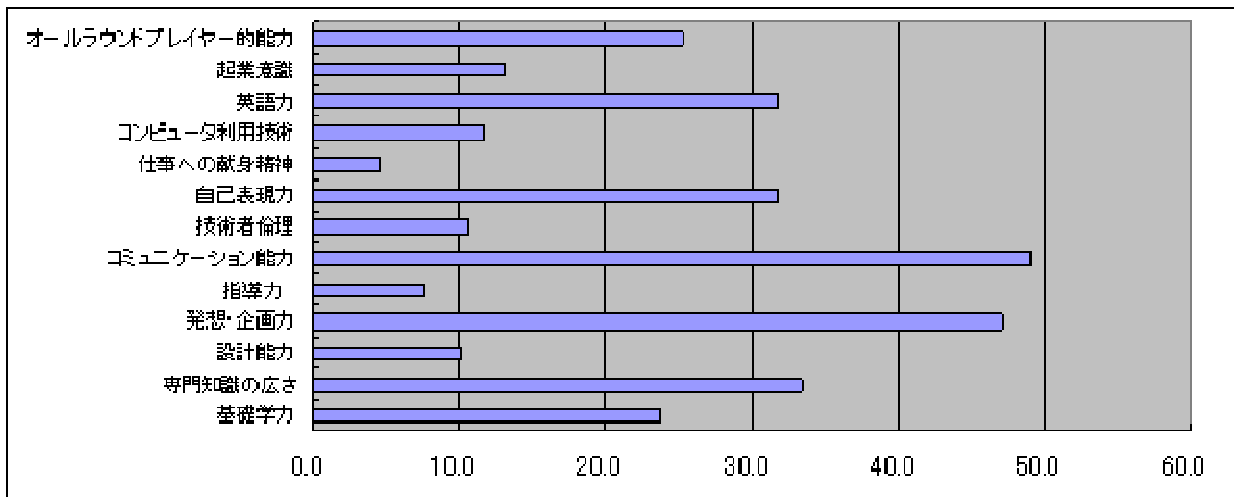
図—5は質問10の項目「今後、どのような能力を持った卒業生が必要だと思われますか。3つ以内で選んで下さい。」に対する回答を示している。卒業生が 弱点と感じている英語力や起業意識の改善に繋がるような能力の育成が工学部として対応すべき主要な問題であることが分かる。



図—3 当学科出身者の優れていると思われる点(工学部)



図—4 当学科出身者の弱点と思われる点(工学部)



図—5 今後どのような能力を持った卒業生が必要と思われるか(工学部)